

佐敷中 勉学と運動両方に最善を尽くして！ 文武両道（学校だより）

令和5年度

6月21日号

佐敷中学校
校長

平良 正哉

地区中体連夏季総合体育大会



〈卓球、サッカー、女子バド、スキットコンテスト〉

台風で一週間延び、雨天にも悩まされましたが、6月11日で地区中体連夏季大会を終えることができました。同日開催でしたので、各部の健闘している様子を全部見ることができなかったのは残念ですが、各会場で熱戦を繰り広げていました。

上位の成績を残したのは、卓球男子個人（山城陽）優勝。女子バスケットボール部3位。女子バドミントン団体3位。個人ベスト8（仲本百々心、前城琉里）女子バレーボール部5位です。7月22日から各地で開催される県中体連夏季総合体育大会に参加する予定です。島尻地区の代表として頑張ってきてほしいです。

その他に全日本中学校通信陸上競技大会沖縄大会が17日、18日に行われ、佐敷中選手が活躍しています。男子共通3000m優勝（當間光琉）2位（桃原昂煌）、男子共通800m5位（玉城漱汰）男子1500m4位（桃原昂煌）7位（當間光琉）。

スポーツだけでなく、美術部のアートコンクールや吹奏楽部の沖縄県吹奏楽祭で自慢の曲を披露しています。佐敷中学校の校訓である「文武両道」とおり、両方一生懸命が見られてとても良かったと思います。

本校のメンバーだけでは人数が足りず、他校と合同チームでプレーした男子バレーボール、サッカーも他校の選手たちとチームワークを発揮してはつらつとプレーしていました。外部のクラブチームでプレーしているみなさんにもそれぞれの大会での活躍を期待しています。

学校代表で参加した島尻地区英語スキットコンテスト（英語による寸劇）に5名の生徒が参加しています。こちらも元気のある演技で南城市について紹介する内容で好評でした。

勝利をめざし、負けたときの悔しさもありますが、何より、ひたむきにがむしゃらにプレーする姿はとてまかつよかったです。

この大会を最後に部活動を終える三年生もいると思います。一生懸命に取り組んだ日々はきっとみなさんの将来に大いに役立つことだと思います。この経験を活かして次のステージでの活躍を期待しています。

校長講話「それって犯罪かも」



重要

自分で 判断できる 人になろう

〈タイトルは「安心して過ごせる佐敷中学校」〉
悪のりしすぎて炎上し、大変な迷惑をかけるバイテロの話から始まって、取り返しのつかない悪ふざけについてお話ししました。そして「いじめを増やすことが出来るか？」というわざと反対のことを考えました。それは逆のことをすればいじめをなくすことが出来るということです。「ただふざけていただけ？」で人を傷つけたり、取り返しのつかないことにならないように気をつけてほしいです。スマホやPCによってSNS上でイヤなことを書かれたり、恥ずかしい写真を拡散されたりすることがないように注意が必要です。

自分で判断できる人になろう（自己指導能力の育成）が大きな目標です。SNS利用等の被害者にも加害者にもならないように気をつけましょう。デジタルタトゥーとは、Digital（デジタル）とTattoo（刺青、タトゥー）の2つの単語を組み合わせた造語で、デジタル情報（文字や画像、動画など）がSNSやブログ、検索エンジンを含むインターネット全般に公開され、将来の自分にとって不利益な情報が残り続けてしまうことです。くれぐれも取り返しのつかないふざけやいじめで傷つく人がいない佐敷中学校をめざしましょう。

市教委・教育事務所長学校訪問

6月7日（水）に南城市教育委員会、15日（木）に島尻教育事務所長の学校訪問があり、いくつか感想・コメントを頂きました。

①学びに向かう姿勢、教師がよく生徒の声を拾っている。②グループ学習が効果的に成されていてとてもよかった。③生徒の自発性や考える場面をよく設定していた。④生徒がいないのかと思うほど静かで落ち着いた授業の様子に感心した。⑤体育の授業（プール）のあとでも切り替えてよく授業に集中していた。⑥掲示物が工夫され楽しい雰囲気やタイムリーな様子を伝えている。⑦生徒一人一人の聞く態度がよく個別対応が成されていた。⑧朝の活動に活気があり授業も落ち着き、安心して見ていられた。⑨家庭学習の取り組み状況を見せてもらったが、量、質ともによかった。⑩教師が子どもたちの中に入って会話（おしゃべり）している様子はとてもよかった。

定期テストⅡ（一学期末）

単元テストと学期1回の定期テストの両方があります。一年生には初めてのテスト、三年生には高校入試を意識した時間割になっています。きっかけを利用していい準備ができたでしょうか。また、テストの結果をしっかり活用して課題克服、日頃の学習について考えましょう。